

2days race in 木島平 2019

Communique001

issued at 190516

1. スポーツ保険

昨年同様に以下の金額で保険を設定した。選手は安全な走行に努めてほしい。

死亡他 3,000千円

入院 3,000円/日

通院 2,000円/日

保険会社 インターサポート上田店0268-25-6336

担当 大澤 さん

保険が必要な事故を起こした場合、セクレタリーに連絡すること

保険会社担当者から連絡が行く。

主催者は参加選手に以下を強く推奨する。

現在設定している自動車保険、火災保険の更新時期に個人賠償責任特約として対人対物加害賠償保険を設定すること。

対人対物加害賠償の費用は2000円程度からである。

自転車練習中に歩行者に重い障害を残すけがを負わせた場合などに 示談交渉まで代行してくれる保険特約です。

神戸の自転車事故で小学生の親が、子供が起こした事故の責任と賠償約9,000万円を求められた事例があります

2. 駐車場

管理者からのご厚意で 以下の条件で会場周辺で駐車が可能となった

- ・ 参加チーム数が31のため駐車スペースが厳しい。端から車間隔を詰めて駐車されたい。
- ・ 駐車場が不足する場合は以下の処置をとる。
- ・ 各チーム1台 (2台目以降はテクニカルガイド記載のやまびこの丘公園駐車場に駐車ください)
- ・ 駐車IDはマネージャーミーティングで各チーム1枚配布します
駐車IDのないチームカーは やまびこの丘公園駐車場に移動ください
駐車IDはフロントダッシュボード右側の見えるところに掲示してください
駐車範囲はトイレの西側、ローラースキー場に近いところに駐車ください(別添図参照)
ローラースキー場に近い範囲は ニコニコファームご来場のお客様用です。
- ・ 駐車場内では自転車に乗らないでください。

3. ゼッケン

ゼッケンは正しく装着されたい。選手が本来のゼッケンと違うゼッケンで出走した場合、競技規則ペナルティー表#5を準用して 1回目30SF 2回目50SFの罰金とする

4. 機材確認

以下の項目についてレース前後に抜き打ちで機材確認を行う

- ・ 最低重量
- ・ メカニカルドーピング
- ・ サドル位置（サドル先端と BB 垂線の関係）
- ・ BB 垂線からハンドル先端までの距離
- ・ TT ハンドル肘あてからハンドルの上下位置関係
- ・ ジュニア選手最大ギヤ比

5. ゼッケンフレームプレート

ポディーゼッケン、フレームプレートは欠番の選手を含めて一括で受付時 監督に手渡す。 監督は試合終了後 チーム単位でゼッケン、フレームプレートを返却すること。リタイヤした選手ごとに個別にゼッケン、フレームプレートを返却しない。

ポディーゼッケン装着に安全ピンを使用すること。両面着テープを使用した場合ペナルティーの対象となる。

6. 安全管理,補給他

- ・ 5月18日09:00~10:15までの間、走路の使用を認める。
地元の部の選手（中学生ほか）も走路を使用するので、事故を起こさないように注意すること。
コース設定後、走路の開放は放送で告知する。
- ・ コース上にステージ1A スタート発射台他がすでに設置されているので十分注意すること
- ・ ステージ1B スタート方法
テクニカルガイド7-2ステージ1b、ステージ2：集団スタートステージ 集合に以下を追加する
ステージ1bでは個人総合成績上位10名、アナウンサー指定選手を呼び上げる。
その後方はステージ1aタイム30秒ごと下記のグループに分けた出走位置とする。
「これらのグループを更に大きく3グループにまとめてそれぞれMOTO1,MOTO2で競技開始地点まで誘導する」
- ・ 補給
テクニカルガイドでステージ1B,ステージ2でそれぞれ2回の補給が走路左側から認められている。
チーム役員はサコッシュと呼ばれる補給用袋を用意して確実に補給されたい。
補給場所を添付図面の場所に変更する。
補給できる距離地点を 以下に修正する

シニア

ステージ1Bで19周回終了手前100mから通過後200m直線区間（走行距離63.9km）、
20周回終了手前100mから通過後200m直線区間(走行距離67.7km)
で走路左側より認める。(ゴール周辺グラウンド区間)
ステージ2で22周回終了手前100mから通過後200m直線区間（走行距離74.6km）、
23周回終了手前100mから通過後200m直線区間（走行距離78.0km）
で走路左側より認める。

認められない周回での補給、ごみの投げ捨てはペナルティーの対象となる。

・補給モト

給水モトからの補給は 9周回完了後(30.6km+0.2km)からゴール手前3周回(10.2km)まで行う。競技規則8条14項より補給を受ける選手は集団後方まで下がって補給モトのボトルケースからボトルを取り出すこと。補給モトは集団横まで上昇しない。

・機材補給

機材補給についてテクニカルガイドを以下に修正する

8-2-4 機材補給

共通機材モトで機材補給を行う予定でいる。

先頭集団のために共通機材モト2が 大集団のために共通機材モト1が 機材支援する。

機材補給を受ける選手は走路左端に停車すること。

ゴールライン付近のシングルピット1か所 左側のみでチームスタッフからの機材補給を受けることができる。

ニュートラル周回は認めない。

共通機材はシマノ11速 キャリパーブレーキ 通常幅リムの車輪のみを供給する

新しいピットは別紙補給区間と同じとする

7. ジュニア、コンソレーション

出走人数が多くなった場合以下の処置をとる

- ・ 周回遅れ失格となった走行距離ごとに複数のグループに分けて スタート位置を指定する。
- ・ シニア選手の後方にジュニアの試合の選手が学年ごとに並ぶ
- ・ ステージ1B、ジュニアコンソレーションで周回遅れと見込まれる選手はコントロールライン付近で赤旗により失格を告知される。ゼッケン番号が記録された後にコースを離れること。ステージ1Bでゼッケン番号が記録されることなくコースを離れた選手はコンソレーション最後尾のスタート位置となる。

6. 木島平村ファームス木島商品券

木島平村から以下の賞品として商品券の提供をいただきました。

木島平米 2kg 8袋

7. ステージ1Aスタートゴール配置

地元の部およびステージ1Aのスタートゴール付近の配置を下概要図とする。

